

OPTION2

NEO STYLE TUNING MAGAZINE

SEP.2009
定価 **580** yen

09

チューンドアイテムカタログ特別編
今どきチューンの必須パーツ
**スポーツ触媒
徹底テスト**

関西地区での初開催
**パーキング
オートサロン**
in セントラルサーキット

7月7日はセブンの日
"RE WARS"
潜入レポート

登録無料!!
OPT2ケータイ専用メルマガ
mail@option2.jp



走れるからって安心できない
愛車の隠れたラガール
発見マニュアル!!

EXEDY CUP
OPTION2
お遊び耐久
2009 Rd.2
inセントラルサーキット

ラスト2時間を無給油で走りきり
クラストップ、総合6位をゲット!



エキスパート
NAクラス
優勝

竹田オート
シビック [EG6]

決勝ベストタイム: **1分33秒788**
ドライバー: 吉見/杉本/真下/和田/吉見

耐久性の高さには定評のあるB16Aをベースに戸田レーシングのキットを組み込み、排気量を1.8ℓに拡大した竹田オートシビック。実は2時間を経過した時点ですでに義務である3回目の給油を終えていたが、この段階ではクラス3位だったため「このままでは勝ち目がない」と、イチャパチかの大勝負に出た。7000rpmシフトをキープしながら、ガス欠覚悟のエコランで残り2時間無給油で走りきるといふ大胆な賭けが成功し、なんとかクラストップで逃げきったぞ。

ヴィッツの燃費性能を信じ
最後まで全開アタックを敢行!

B-FLOGS TRIAL OMV

ヴィッツ [NCP13]
決勝ベストタイム: **1分39秒679**
ドライバー: 川根/四方/寺西

コンパクト
NAクラス
優勝



とにかくリスクを回避するため、エンジンは吸排気系の交換のみとし、ラジエーターやオイルクーラーといった冷却対策に力を入れたというヴィッツRS。今回はライバルチームの多くがエコランに徹するなか、ヴィッツの燃費のよさを信じて、あえて全開走行を選択。セーフティカーが入っているとき以外はガス欠覚悟で踏みまくったが、それでもなんとか1回の給油で乗りきり、おとしの夏以来となるクラス優勝をはたした。



シェイクダウンのニューマシンで
みごとアンリミックス初制覇!

エンジン&タービンはノーマルながら、FRP製リヤドアやアクリルウィンドウなどで車重約1180kgまで軽量化し、19点式のロールバーを組み込んだ強靱なボディは、レーシングカーのようなダイレクト感あふれるフィーリングを生み出す。4輪がなるべく均等に使えるようなサスセッティングを目指しているんだけど、ボディを強化してからセッティングも進めやすくなったそう。



インタートレーディング
ランエボVI [CP9A]

決勝ベストタイム: **1分29秒053**
ドライバー: 加藤/阪口/富樹

アンリミテッド
クラス
優勝

昨シーズンの最終戦からエボVIで参戦しているインタートレーディングは、兵庫県で展開するユースドカーショップ。前回まではストリート仕様でのエントリーだったが、この第2戦に間にあうように、テラムレーシングファクトリーがタイムアタック仕様として作りこんだエボVIを購入してきた。しかし事前にテスト走行をする余裕がなく、当日のフリー走行時間を利用してセッティングをおこなうなど、ほとんどぶっつけ本番で参加となってしまったという。それでも、予選では3番手という好位置をキープし、決勝でも安定した速さを保ち続け、念願の初優勝を飾った。

ダイエーDXLチーム76
MR-2 [SW20]

決勝ベストタイム: **1分39秒764**
ドライバー: 柿谷/深田/藤永

エキスパート
ターボクラス
優勝

ダイエーモータースのレンタルレースカーで今回はじめてお遊び耐久に参戦したというエントリーの平均年齢はなんと45歳! 用意されていたマシンはブーストアップ仕様のSW20で「とりあえずコンスタントにタイムを刻んで最後まで走りきれば、きっと結果もついてくる」と、燃費をきちんと計算して回転数を6000rpm以下におさえた走りを展開。今回は後半でセーフティカーが何度も入ったことや他チームの脱落が功を奏し、初出場にして初優勝という快挙を成しとげた。



ドライバー平均年齢45歳の
初参加チームがクラス優勝!

アンリミテッドクラス

順位	ゼッケン	チーム名	車名	周回数	ベストラップ
優勝	16	インタートレーディング	CP9A	131	1分29秒053
2	78	ダイエー-QRSLADXL	SW20	131	1分32秒074
3	18	RGD-IDPベストタックスOS	EK9	130	1分34秒485
4	7	FEEDレーシングチーム	FD3S	129	1分27秒444
5	1	J's RACINGクニ子	AP1	128	1分30秒802
6	44	ガレージM-TEC制動屋GLR	EG6	125	1分31秒984
7	34	パワースポーツDIXCELエボVI	CP9A	125	1分33秒921
8	20	MAX RACING	FD2	124	1分34秒557
<以上、完走>					
8		ガレージ伊藤オリオンディセル	S13	106	1分27秒587
3		Mブルース森下謙信GTOモチーフズ	Z15A	86	1分28秒484
10		テツヤ オッサンシビックSEI	EK9	36	1分34秒517
62		RJ氏の肉公真実会セントラル制動屋☆J's	DC5	34	1分32秒831
48		TocカンパニーチャージVSP	EK4	17	1分35秒228
33		パワースポーツAEB8F22T	AEB8	7	1分34秒184
17		アクアR40YZLRC	PS13	未出走	

エキスパートNAクラス

順位	ゼッケン	チーム名	車名	周回数	ベストラップ
優勝	35	竹田オート	EG6	128	1分33秒788
2	9	テクニカJAC制動屋OKCセナルト	FD2	126	1分33秒996
3	38	阿波屋CIVIC★YACCO★	EG6	126	1分35秒083
4	4	GarageSolution	EF8	126	1分35秒945
5	27	JKレーシングユーロー-EXE	EG6	125	1分36秒234
6	42	福屋エンジンアリアンCIVIC	EG6	125	1分35秒110
7	28	S.P.R.T★香島板金シビックフェリオ	EG8	124	1分34秒710
8	40	クラック S2000	AP1	123	1分35秒015
9	39	KFACTORY制動屋Moto's	EG6	121	1分34秒709
10	14	パワースポーツR40YZLRC	EK4	120	1分38秒091
11	26	ステラ 赤っ黒シビック	EG6	120	1分40秒353
12	43	チーム男の辛口+TOJ	EG6	118	1分35秒025
13	21	King's company	EG6	113	1分35秒973
14	23	新車車庫 NOT あらーじ	CJ4A	99	1分43秒011
<以上、完走>					
31		シブナル千里LINKAGEシビック	EK4	122	1分34秒200
11		TCCカンパニーチャージB	EG6	87	1分36秒609
19		TEAM417K	EG6	72	1分36秒382
24		Line up HR32 スカイライン	HR32	60	1分35秒507
5		Carnival Racing	EK4	43	1分38秒554
29		ハーブウェイNUTECコペン	L880K	24	1分41秒031

コンパクトNAクラス

順位	ゼッケン	チーム名	車名	周回数	ベストラップ
優勝	37	B-FLOGS TRIAL OMV	NCP13	128	1分39秒679
2	41	EXEDY式号機川自工GA2	GA2	127	1分39秒446
3	25	TOJ	AK12	115	1分40秒238
<以上、完走>					
6		EXEDY☆ハイパー-EP71	EP71	110	1分40秒047
22		ファイナルモーションNRS	AK12	4	1分49秒063

エキスパートターボクラス

順位	ゼッケン	チーム名	車名	周回数	ベストラップ
優勝	76	ダイエー-DXLチーム76	SW20	117	1分39秒764
<以上、完走>					
12		トネーション道隆清	FC3S	87	1分37秒704
32		ナギサオートてこびこ鈴木B6	AEB6SC	78	1分40秒481
15		日経連合	RS2	26	1分33秒530

Chiaki Akasaka

J'S RACING GAL
赤坂千明ちゃん

身長: 163cm
スリーサイズ: B83/W60/H84
趣味: ゲーム、読書、料理

レースリザルはははははは

わさないうようにするなど、涙ぐましい努力によって燃料消費をおさえ、給油回数を減らす作戦で勝負を挑むチームがほとんどだったぞ。

ちなみに例年であれば、過酷な暑さによって序盤からトラブルが続出し、セーフティカーが何度も入るんだけど、今年は対策をキッチリとおこなってきているチームが多かったためか、レース開始から1時間半の時点ではセーフティカーの出動回数はゼロだった。

しかし、あまりにも長く緊張状態が続いたせいか、その後はトラブルが二気に噴出。ゴールまでの2時間半のあいだにセーフティカーが7回も出動し、

結果的に完走率59%という大荒れのレースになってしまった。

そして、中盤にいち早くこの大混乱を抜け出したのが、予選で3位という好位置をゲットした藤田エンジニアリングとガレージ伊藤のバトルにもしっかりと食いついてきたインタートレーディングのエボVI。

結局、インタートレーディングがこのままトップを守りきり、念願の初優勝! 2位には第1戦覇者のダイエーモータースSW20、3位には4時間を1回給油作戦で走りきったRG-OのEK9、そして4位には死闘の末にファステストラップを獲得した藤田エンジニアリングが滑り込みチエッカーをうけた。

そのほかのクラスでは、ガス欠覚悟でエコランに徹した竹田オートEG6が激戦のエキスパートNAを制し、コンパクトNAではライアルのNCP13が総合でも7位に食いこむ大健闘をみせ、1位を獲得したぞ。

ホームセンターでアルミ板を購入し、フロントはアンダーフラップのように、サイドは整流板のように、リヤはディフューザーのように整形するなど、フィットをDIYでGTカーチックにドレスアップしている羽仁さん。

ポトム部分に鮮やかなイエローのカッティングシートを貼っているのもアクセントになっているね。もちろんこれは羽仁さんの自作だ。違和感もなく仕上がっているのは、ホントに脱帽モノ。



■TUNIG SPEC■
 無限マフラー ホンダアクセスキット ほか

フィット [GE8]
 広島県三原市
 羽仁敏和さん



このディフューザーの完成度を見よ! デザインといい、アルミの無機質さといい、レーシーな感じがたまらなくイイカンジに仕上がっていると聞かない? イエローのカッティングとの相性もピッタリだね。



純正ではフットレストがなく、スポーツ走行時に踏ん張れないためフットレストを自作。また、アクセル位置は、ヒール&トゥーをスムーズにこなすため、スペーサーをかましてプレーキとおなじ高さに調整しているそうだ。

**スーパーGTマシンをモデルに
 DIYチューンでドレスアップ!**

エッジの効いたポルテックスのフロントバンパーが大好きだという植元さん。チャージスピード製サイドステップやカーボンの小物パーツなどをうまくブランドミックスし、見事なコーディネートを実現しているね。今後はタービン交換を含め500psを目指すというぞ。

インプレッサ [GDB]
 大阪府大阪市
 植元さん

イカつさ強調!
 巧みなエアロミックスで

■TUNIG SPEC■
 HKS-FコンS レーシングギア車高調 エンドレスキャリパー/ローター パリスカーボンボンネット ポルテックスフロントセンター/GTウイング チャージスピードサイドステップ ほか



缶スプレー36本でDIYオールペン!

インテグラ [DC2]
 大阪府茨木市
 後藤琢也さん

■TUNIG SPEC■
 戸田レーシングカムシャフト/ピストン ワンオフマフラー アベックスパワーフC クラックス車高調 オールペン ほか



このクルマはなんと5人の仲間が缶スプレー36本を使って1日ばかりでオールペンしたんだって!! 仲間といっしょにやったおかげで、失敗した部分は削り取ってまた塗って……と根気よく作業できたそうで、すごくキレイに仕上がっていたぞ。

ミッドナイトパープルのツートンです

インテグラ [DC5]
 大阪府東大阪市
 金盛さん一家



レプリカ? いえいえよく見ると痛車です!

インプレッサ [GC8]
 兵庫県加古川市
 KURO FUJIさん



バイク純正の紅色で
 デモカー風仕上げ

インテグラ [DC5]
 岡山県備前市
 kotoraさん



■TUNIG SPEC■
 HKS-FコンVプロ トライボックスベックスロットル M&MオーリンズDFV車高調 Cウエスト・フロントスポイラー/サイドステップ/リアアンダーフィン/GTウイング パリスカーボンボンネット ほか

無限のデモカーのように仕上げたくて、カーボンボンネットやルームミラーカバーまでファイヤークラッカーレッドにオールペンしたというkotoraさん。左右のテールランプはスパイダーライト、センターはオデッセイ用を流用してLED化していたぞ。